

「物理学を通して本質を見抜くための10冊」

理学部教授 栗田 和好



- 『新しい高校物理の教科書』 山本明利、左巻健男編著（ブルーバックス 2006年）
- 『物理学とは何だろうか』 朝永振一郎著（岩波新書 1979年）
- 『量子力学的世界像』 朝永振一郎著 牧二郎解説（朝永振一郎著作集 みすず書房 2001年）
- 『光と物質のふしぎな理論: 私の量子電磁力学』
R.P.ファインマン著 釜江常好、大貫昌子訳（岩波現代文庫 2007年）
- 『物理の散歩道』 ロゲルギスト著（岩波書店 1963年-1972年）
- 『ダイアログ: 対立から共生へ、議論から対話へ』 デヴィッド・ボーム著 金井真弓訳（英治出版 2007年）
- 『いかにして問題をとくか』 G.ポリア著 柿内賢信訳（第11版 丸善 1975年）
- 『原子力発電』 武谷三男編（岩波新書 1976年）
- 『デフレの正体: 経済は「人口の波」で動く』 藤谷浩介著（角川oneテーマ21 2010年）
- 『予想どおりに不合理: 行動経済学が明かす「あなたがそれを選ばれ」』
ダン・アリエリー著 熊谷淳子訳（増補版 早川書房 2010年）

物理学はデータをもとに因果関係を定量的に分析しその本質を見抜く学問です。残念ながら社会では嫌いな科目のトップに挙がる物理ですが、情報が氾濫して変化が速い現代社会において、その知恵活用の重要性はますます増してきていると感じています。そこで、文系理系を問わず、すべての人がその考え方、楽しみ方、そして社会との接点に触れることができる書籍を紹介したいと思います。

1は一般向け物理入門書で日常の現象の「なぜ」に気づかせてくれる好著。高校物理というタイトルではありますが、日本国民が最低限持っているほしい物理の基礎という意味だそう。2は物理の成り立ちを歴史を踏まえて解説したもので科学と文明に関する考察にも言及しています。出来上がった物理の体系は整然として一見冷たく感じるかもしれませんが、物理を作り上げる過程は紆余曲折のもので、やけに人間っぽいものなのだと気づいていただけるかもしれません。3、4はノーベル賞を同時に

とった二人の理論物理学者による現代物理の不思議さを一般向けに書き下したもので、その醍醐味と彼らの茶目っ気をお楽しみあれ。5はふと疑問に思った日常の現象を散歩しながら考えてみたというノリの書です。「物理屋さんのこだわりはこんな所にあるんだな」なんて発見を楽しんでください。6、7は物理学者と数学者が深く考える手法を提案した書で分野の枠を超えて役立つ本。少し難解かもしれませんが、8は立教大学の教授だった故武谷三男先生の原発の書。原子力について書いてあることを鶏呑みにするのではなくその正当性をどうしたら確かめられるのかという視点で考えるきっかけにいただければと思います。9、10は物理学とは全く関係が無い経済の書ですが、データに基づいて定量的に因果関係を探っていて強い説得力を持って迫ってくる良書。著者たちの主張の正しさについては保証できる立場にありませんが、論理展開は物理の手法と共通性がありすこぶる面白さを感じました。

Information

池袋図書館が「第30回日本図書館協会建築賞」を受賞しました!

2012年11月にグランドオープンした池袋図書館が、「第30回日本図書館協会建築賞」を受賞しました。「日本図書館協会建築賞」とは、日本図書館協会が「優れた図書館建築を顕彰し、それを広く世に知らせることによって、図書館建築の質の向上を図ること」を目的として定める賞です（「日本図書館協会建築賞」募集要項より）。

『「伝統と革新」本気で勉強したくなる図書館』という大学並びに図書館の建設意図が明確であったこと、それに応えて高い技術力で、既存建物と違和感なく一体化させた上で、新しい利用者ニーズに対応した上質の図書館空間を造りだした設計者の存在によって、大学図書館の目指すべき像が実現された』と評価されました。この評価は建物自体のみならず、背景にある利用者サービス等のソフト面の思想や改革も含めてのものである、と受け止めています。今後も利用者の新しいニーズに対応し、発展し続ける図書館となれるよう、努めてまいります。

<http://library.rikkyo.ac.jp/>

Your Library 第30号 (通号89) 発行日 2014年10月3日

編集 小林 憲太郎 (図書館副館長) <http://library.rikkyo.ac.jp/>
 発行人 豊田 由貴夫 (図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2628
 発行 立教大学図書館 印刷 立教プリンティングステーション



Your Library

立教大学図書館だより No.30 | 2014.10.03 AUTUMN ISSUE | ISSN 1883-1303

進化し続ける、新座図書館

～その知られざる設備を徹底解剖!～



池袋図書館
第30回
日本図書館協会
建築賞受賞!!

読書ナビ

栗田 和好教授
理学部

進化し続ける、新座図書館

～その知られざる設備を徹底解剖!～

池袋の学部の人も
もちろん使えます!

～新座図書館紹介～

- 観光・コミュニティ福祉・現代心理の学部・研究科が中心に利用する学習・研究図書館です。
- 蔵書冊数は、約24万冊です。
- 開館時間(授業期間)は、平日8:45-21:30 土曜日8:45-20:00 日曜日・祝祭日10:00-17:00です。
- SALA(埼玉県大学・短期大学図書館協議会)に加盟しているため、新座図書館で発行する「共通閲覧証」があれば、県内の48の大学・短期大学の図書館を利用できます。
- 新座市在住・在勤の方にも公開しています。

1F

1Fには色々な資料や施設があります。



DVDだけでも
約7,500点
あります!

映像資料が
充実しています。

視聴覚資料の貸出

- 2点を2週間借りる事ができます。
 - 池袋図書館に取り寄せる事もできます。
- ※図書館では、専用の著作権処理済のものをご購入しています。



映像資料コーナーは、入館ゲートを過ぎてカウンター右側にあります。

1 UNWTO (国連世界観光機関)



新座図書館はUNWTO(国連世界観光機関)の寄託図書館となっています。スペインにある本部より定期的に送付される観光関連の資料を収集しています。

2 ガイドブック



「地球の歩き方」「ことりっぷ」をはじめとする旅行ガイドを集めています。現在ガイドブックなどいくつかのコーナーはリニューアル中です。秋学期中には、新コーナーが入館ゲート付近にお目見えしますので、乞うご期待!



3 リラックスルーム



5号館側スペースの北端にあり、キャンパスを見渡せる明るいスペースです。ちょっと休憩をしたい時にどうぞ。ここでは会話をしたり携帯電話を使っても大丈夫です。



4 AVルーム



はじめてAVルームを利用して、まずテレビの大きさと音質が良かったことで映画館のような雰囲気を楽しむ事ができました。

(コミュニティ政策学科 松倉圭佑さん)

5 AVブース



VHS、DVDはもちろんブルーレイも再生可能という幅広いメディアに対応したデッキはもちろん、白眉なのは映画の生誕から最前衛まで網羅した所蔵資料の豊富さ。休日や授業の合間に利用してみたいいかがでしょうか!

(現代心理学研究科 大嶋悠さん)

2F

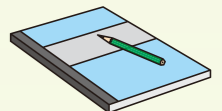
しおり | 新座図書館 ラーニング・コモンズ

2F「しおり」には、多目的スタジオ、グループエリア、グループ学習室があり、学習活動における様々なグループワークに適したスペースです。

6 グループエリア



池袋図書館の新しいラーニング・スクウェア同様、気軽な雰囲気でのグループワークが出来ます。



7 ラーニングアドバイザー



ラーニングアドバイザーは学生の皆さんの学習サポートをしています。「レポートの書き方がわからない」「文献が見つからない」など、どんな学習の相談でも、私達大学院生が親身になってサポートします。はじめは、相談するのに勇気がいると思うかもしれませんが、気軽にぜひ来てください!!! (観光学研究科 澁谷和樹さん)

8 グループ学習室



2014年春より全室の壁にホワイトボード壁紙を貼りました。とてもよく利用されています。

この壁一面に書き込むことができます。



新座ビデオテークによるぞ!

現代心理学部 中村秀之先生

新座の映像資料コーナーは豊富でバランスのよい「品揃え」に加え独自のセレクトが自慢です。なにしろ映像身体学科の教員には筋金入りの「映画狂」がいますから。今回はその中で2点だけ紹介します。まずは世界的な記録映画作家・土本典昭の作品です。ライフワークだった水だけ紹介。とにか「映画」としての力強さに魅了されること間違いなし。次に「日本映画傑作全集」。な候病関連の作品のほとんどが「公害の原点・水俣から学ぶ」というシリーズに収録されています。なんとVHSですが、成瀬巳喜男の『歌行燈』や『鶴八鶴次郎』など、DVD化されていないレアな傑作が何本も見られます。今どき図書館ならではのコレクションをぜひ活用してください。

